

冬

本番！

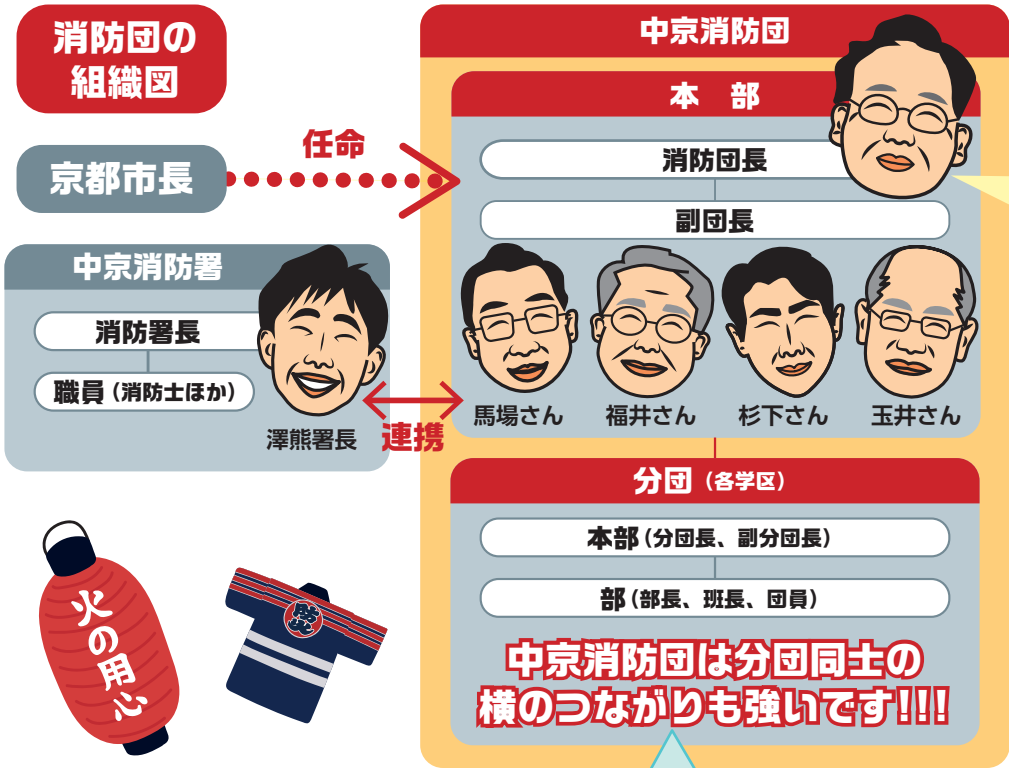
地域 みんなで  
災害に備えよう

今月号からシリーズとして、中京区基本計画推進会議のメンバーの活動について紹介していきます。初回は、中京消防団の上田義昭団長に、中京消防団のお話をうかがいました。



川端 中京区長

火事や地震、台風などの災害から、地域の皆さんの安全と安心を守る身近な存在が「消防団」です。普段は会社員や自営業者など、様々な仕事をしていますが、災害が発生すると消防士とともに消火、救護活動を行います。  
「中京消防団」は23分団で構成され、約420名が「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命感をもって日々活動しています。



上田団長からのメッセージ

消防団の活動は「キビシイ」や「カタイ」といったイメージがあるかもしれませんが、地域とふれあうことができ楽しく、風通しの良い組織です。また、学生や若手の社会人の方も、年齢に関係なく、たくさん意見を言ってくれるので、これまでの形にとらわれない時代に合った発想力をもって取り組むことができています。

私は入団して53年目になります。入団当初は、不安や自分がやらなくてもという気持ちがありましたが、一緒に活動する先輩たちのまちへの愛着や誇りを身近に感じてから、その意志を引継ぎたいと思うようになり、今も活動に励んでいます。私の子どもも入団しましたが、私と同じように「先輩の背中を見ながら成長したい」と思ってくれていて、とても頼もしく感じています。

区民の皆さんには、消防団の取組にご理解いただき、これからも応援していただけたら嬉しいです。

明倫消防分団と本能消防分団が合同で、11月20日に「まちあるきスタンプラリー」を開催しました。

明倫・本能学区に住む方々が消防分団の器具庫など、学区内を巡りながら、防災・災害に関するクイズや防災訓練体験に参加しました。災害に関する知識や分団活動への理解を深めるだけでなく、地域の歴史、建造物等の案内もあり、まちへの愛着を深めていただく機会となりました。



祇園祭消防警備の様子



防火啓発活動の様子

◆中京消防団ならではの活動紹介◆

日々の活動以外にも、中京区を代表する年中行事「祇園祭」では主に救護対応も行うなど、地域の方だけでなく、お仕事や観光客の方々の安心安全の確保にも努めています。

また、ホテルや旅館等の宿泊施設をはじめ多くの事業所がありますが、その社員の方も入団するなど、中京区では、地域住民と地域企業がひとつになって活動しています。

皆さんも私たちと一緒に、地域の安心安全を守る活動に参加しませんか？お待ちしております！

記事に関する問合せ：企画担当 ☎812-2421 入団等消防団に関する問合せ：中京消防署総務課(消防団担当) ☎841-6333